

平成31年3月11日
 四国電力株式会社

伊方発電所における通報連絡事象（平成31年2月分）および 通報連絡事象に係る報告書の提出について

- 平成31年2月に、当社から愛媛県ほか関係自治体に通報連絡した事象は以下の5件です。これらの事象は、法律に基づく報告事象に該当するものではなく、また、環境への放射能の影響もありませんでした。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所3号機 洗濯設備内乾燥機の補助蒸気配管からの水漏れについて	2月4日	2月4日	B
2. 伊方発電所 焼却炉建家における消火設備の動作について	2月5日	2月6日	B
3. 伊方発電所3号機 小物物品搬出モニタからの発煙について	2月26日	2月26日	B
4. 伊方発電所3号機 放水ピット水モニタの指示値上昇について	2月28日	—	C
5. 伊方発電所における協力会社従業員の負傷について	2月28日	—	C

- 過去に発生した以下の通報連絡事象について、その後の調査結果を踏まえた原因と対策をとりまとめ、愛媛県ほか関係自治体に報告書を提出いたしました。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所3号機 スチームコンバータの加熱蒸気2次圧力制御弁の異常	1月7日	2月12日	C
2. 伊方発電所におけるクレーン付きトラックの転倒について	1月18日	1月18日	A

県の公表区分 A：即公表
 B：48時間以内に公表
 C：翌月10日に公表

- (別紙1) 伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成31年2月分）
 (別紙2) 伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

以 上

伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成31年2月分）

1. 伊方発電所3号機 洗濯設備内乾燥機の補助蒸気配管からの水漏れについて

通常運転中の伊方発電所3号機の原子炉補助建屋内（管理区域）において、2月4日15時08分、洗濯設備の乾燥機に補助蒸気^{*}を供給している配管の保温部より、水が漏れていることを、運転員が確認しました。

このため、当該補助蒸気配管への蒸気の供給を停止することで、漏れは停止しました。また、漏れた水に放射能は含まれていません。

当該補助蒸気配管の保温材を取り外して確認したところ、補助蒸気復水配管に小さな穴が開いていることを確認しました。

今後、原因について詳細調査を実施します。

本事象によるプラントへの影響はありませんでした。また、環境への放射能の影響もありませんでした。

※ 発電所の附属設備（洗濯設備、空調設備など）に供給する蒸気のこと

2. 伊方発電所 焼却炉建家における消火設備の動作について

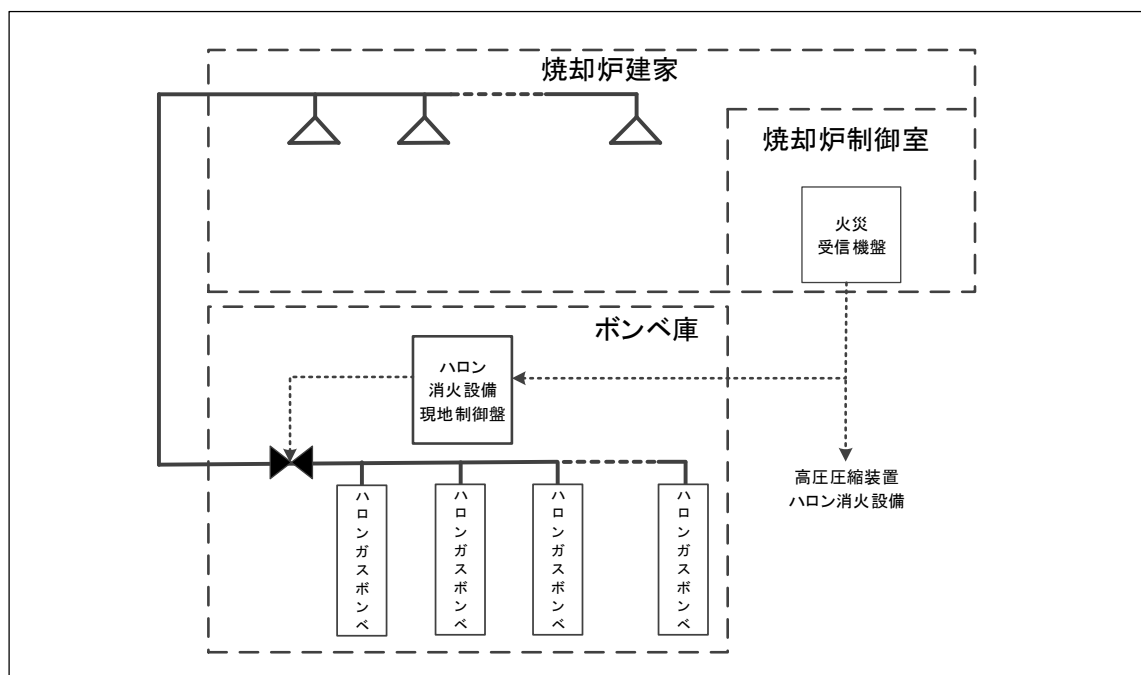
伊方発電所において、作業員がハロン消火設備を点検していたところ、2月5日15時08分、焼却炉建家（管理区域内）のハロン消火設備が動作しました。現場を確認したところ、火災の発生はありませんでした。

ハロン消火設備の動作による負傷者は発生しておらず、設備への影響はありませんでした。

ハロン消火設備の動作原因は、作業員が高圧圧縮装置ハロン消火設備の点検中に操作を誤って、焼却炉建家のハロン消火設備現地制御盤に模擬信号を入力したものであることを確認しました。

本事象によるプラントへの影響はありませんでした。また、環境への放射能の影響もありませんでした。

【伊方発電所焼却炉建家 ハロン消火設備概略図】



3. 伊方発電所3号機 小物物品搬出モニタからの発煙について

2月26日10時46分、伊方発電所3号機原子炉補助建屋内の出入管理室^{※1}に設置している小物物品搬出モニタ^{※2}の管理区域側から発煙したことを確認しました。

直ぐに発煙は止まっており、火災感知器は動作しておらず、炎も確認しておりません。その後、当該モニタ内部を確認したところ、基板の一部に変色があることを確認しました。

今後、原因について詳細調査を実施します。

本事象によるプラントへの影響はありませんでした。また、環境への放射能の影響もありませんでした。

※1 管理区域を出入りする際に、衣服の着替えや、管理区域入退域処理（個人線量計の着用、作業件の確認、着用した衣服等の放射線量の測定 等）を実施する場所。

※2 管理区域内に持ち込んだ手持ち物品（チェックシート、筆記用具 等）を、持ち出す際に当該物品の放射線量を測定する装置。

4. 伊方発電所3号機 放水ピット水モニタの指示値上昇について

2月28日3時20分および7時10分、伊方発電所3号機放水ピット水モニタ[※]の有意な指示値上昇を示す「10分平均注意」の信号が発信しました。

当時、発電所周辺は雨が降っていたこと、および放水ピット内の海水を採取して分析した結果、人工核種は検出されなかったことから、降雨による自然変動と判断しました。

※伊方発電所3号機放水ピット水モニタ

伊方発電所3号機放水ピット内の海水の放射線量を測定している放射線モニタ。1、2号機にも同様の放水口水モニタがある。

5. 伊方発電所における協力会社従業員の負傷について

2月28日、伊方発電所構内の事務所（管理区域外）において、協力会社従業員が階段を踏み外して転倒し、体の痛みを訴えたことから、9時35分に社有車にて病院に搬送することとしました。

医師による診察の結果、右肋骨部打撲、右手小指打撲と診断されました（不休傷）。

以 上

伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

1. 伊方発電所 3号機 スチームコンバータの加熱蒸気 2次圧力制御弁の異常

○事 象

1月7日、通常運転中の伊方発電所3号機において、プラント設備で使用する補助蒸気を供給しているスチームコンバータの加熱蒸気2次圧力制御弁（管理区域外）の動作不良を確認したことから、9時2分、スチームコンバータを停止して同弁を点検することとしました。

点検の結果、弁棒と弁体の接続部が緩み、接続部を固定するピンが折れていたため修理を行い、スチームコンバータを起動して同弁が正常に動作することを確認し、1月25日13時23分、通常状態に復旧しました。

本事象による環境への影響はありませんでした。また、スチームコンバータ停止中の補助蒸気の供給は補助ボイラを運転して行ったことから、プラントへの影響もありませんでした。

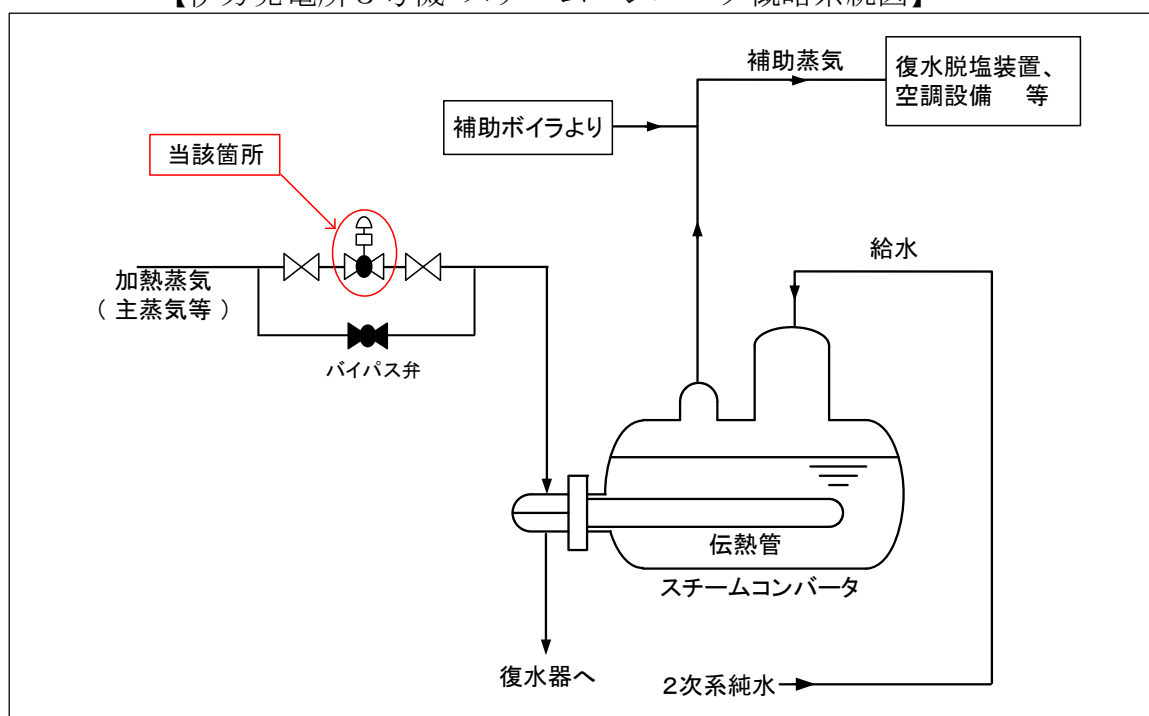
○原 因

調査の結果、弁体と弁棒の接続部が緩みピンが折損した原因は、メーカーの工場にて弁体と弁棒を組み立てる際、微小な異物が接続部に混入しわずかな緩みがあった状態で弁を使用したことにより、徐々に緩みが大きくなり、ピンに通常より大きな力が加わった結果、折損に至ったものと推定しました。

○対 策

- ・メーカーの工場での異物混入対策として、組み立て時にエアブローを確実に実施した新品の弁棒およびピンに取り替えました。また、エアブローを実施した結果を記録として残すこととしました。
- ・念のため、弁棒と弁体の接続部緩み防止として弁棒およびピンの直径を大きくして復旧しました。

【伊方発電所 3号機 スチームコンバータ概略系統図】



2. 伊方発電所におけるクレーン付きトラックの転倒について

○事 象

1月18日、伊方発電所の屋外（管理区域外）において、協力会社の作業員がクレーン付きトラックの荷台より鉄筋を荷降ろし中に、当該トラックが転倒しました。

なお、本事象による作業員の負傷はなく、プラントへの影響もありませんでした。

○原 因

調査の結果、クレーン付きトラックが転倒した原因は、クレーン操作者の安全作業に対する意識が欠けていたため、クレーンのブームを最大に伸ばした状態での計画外作業を試み、吊り荷重を確認することなく、定格荷重を超える重量の鉄筋を吊り上げた状態でブームを回転させたことから、クレーン付きトラックのバランスが崩れ転倒に至ったものと判断しました。

○対 策

- ・当社社長が伊方発電所に出向き、伊方発電所所員および協力会社に基本的ルール遵守などの訓示を行うとともに、担当課長より伊方発電所所員および協力会社に計画外作業の禁止を周知・徹底しました。
- ・クレーン使用時は定格荷重を超える荷重をかけて使用しないことなどの注意事項を作業要領書に追加します。

以 上